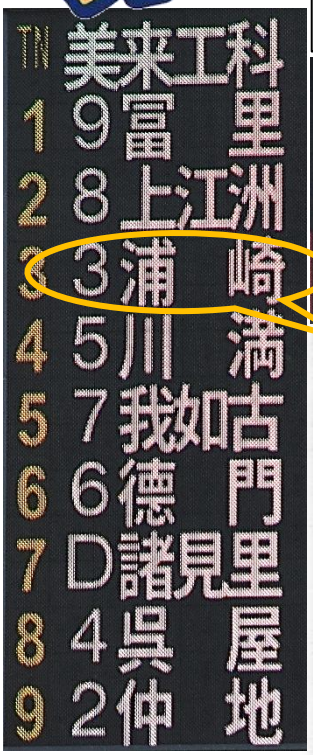
MKBT
IRAI OUKA ASEBALL EAM
進化無限
発行:美来工科高等学校 硬式野球部
2026(令和8年)11月15日 日曜日
Where there is a will,there is a MIRAI.

終盤の集中打で強豪撃破!

エナジック高校に7対6で勝利

1年生大会・美来工科、初の決勝進出



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E
美来工科	0	0	0	3	0	0	1	0	3	7	15	0
エナジック	2	0	1	0	0	0	0	0	3	6	9	1

一年生中央大会☆準決勝☆

美来工科がエナジック高校と激突。序盤に3点のリードを許す苦しい展開となったが、15安打の猛攻で試合をひっくり返し、7対6で劇的勝利を収めた。四回に追いつくと、七回に川満雫生(電④三)の勝ち越し打、九回には浦崎政義(電③一)の走者一掃の適時二塁打で突き放した。九回裏に猛追を受けながらも最後は長濱進太朗(電)が締め、美来工科初の一年生中央大会決勝進出を決めた。



「勝負強さ」で試合を決めた主砲

勝負どころで最も頼れる男が、またしてもチームを救った。浦崎は5打数2安打2打点。中盤には申告敬遠を受けるなど相手から警戒される存在だった。

それでも九回、一死一、二塁という大一番で打席が回る。追い込まれながらも甘く入った球を強振すると、打球は中堅を真っ二つ。二者が生還する貴重なタイムリー二塁打となった。

この2点が後の激しい追い上げをしのぐ大きな保険となり、勝利を大きく引き寄せた。

強豪相手のプレッシャーがかかる場面でも動じない集中力。決勝進出を決める一打は、まさに主砲の貫禄だった。

先制されるも四回に追いつき七回に逆転


諸見里 安矢翔(機DH)
四回、2点適時二塁打で一点差に迫り吠える！


仲地 健翔(電⑨捕)
初回、バッテリーミスと犠飛で2点を失う


川満 雫生(電④三)
七回二死、勝ち越し適時二塁打を放つ！

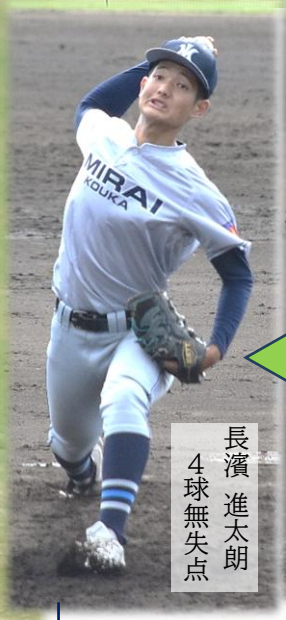

上江洲 英大(電②中)
七回二死から三塁打でガッツポーズ！！

11/14(土)第51回県高校野球一年生中央大会－準決勝－

美来工科 vs エナジック



七回裏二死三塁のピンチで、同点打かと思われた鋭い打球を左翼手・我如古琉久(機⑤左)が跳びついて好捕。無失点で切り抜けた。



長濱　進太朗
4球無失点



池原　慶汰　六回から
3回2/3　4安打3失点



先発・親泊　慎之助
5回4安打3失点

■三投手の粘投が道を切り開く

打線の15安打が注目を集めた一方で、投手陣も粘り強く試合を支えた。

先発・親泊慎之助(電)は5回を投げ4安打3失点。序盤は相手の機動力に苦しみながらも、中盤以降は落ち着きを取り戻し追加点を許さなかった。

六回からマウンドに上がった池原慶汰(機)は流れを引き寄せる好投を披露。無死一塁や得点圏のピンチを背負いながらも要所を締め、3回2/3を3失点。七回、八回を無失点で切り抜けた投球が勝利への土台となった。

そして九回二死一塁、一打同点の緊迫した場面で登板した長濱進太朗(電)。わずか4球で最後の打者を仕留め、決勝進出の瞬間をマウンドで迎えた。

それぞれが自分の役割を果たした継投リレー。苦しい展開を耐え抜いた投手陣の粘りなくして、この勝利はなかった。







優勝

宜野座	15 11/15 名1 10:00	美来工科

決勝 vs 宜野座高校

10:00 名護球場